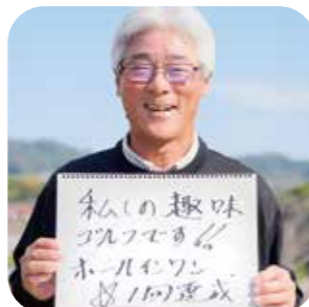


佐賀県老人クラブ連合会 広報誌

# ぴかぴか

教えて  
クラブの  
みなさん!

このコーナーでは、  
老人クラブ会員の方々に  
テーマを決めて  
インタビューします!  
今回のテーマは…



(取材協力:唐津市老人クラブ連合会 浦・鳩川老人クラブ)

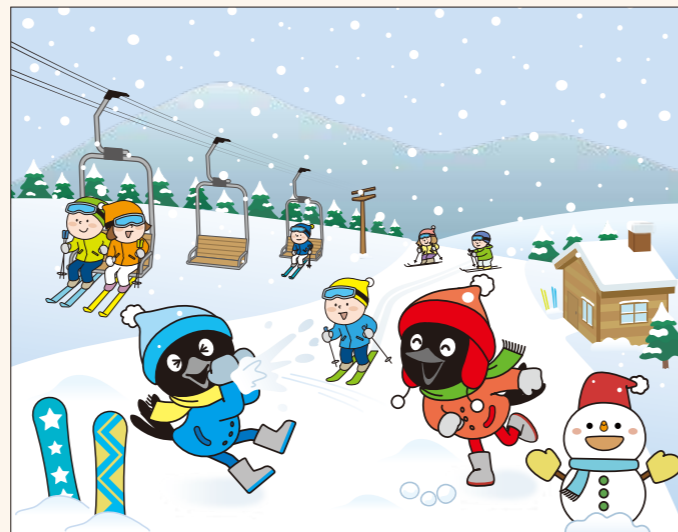
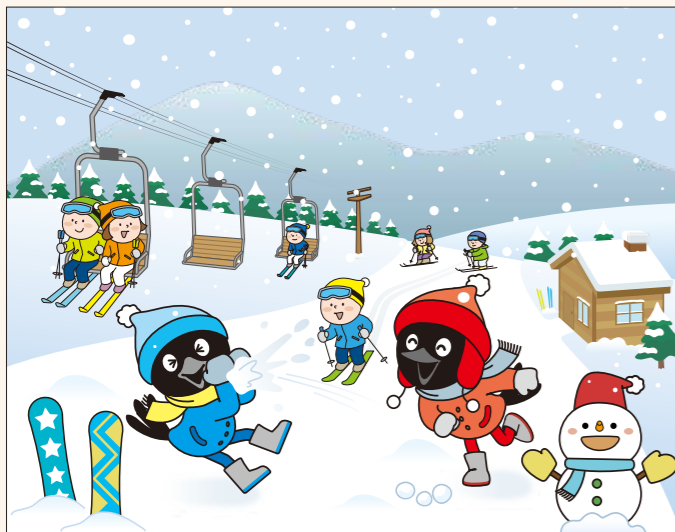
読者プレゼント!



## まちがい探しクイズ!



左右のイラストで違う所が**5箇所**あります。すべて正解した方の中から、  
抽選で**5名様**に**さがびより 5kg**をプレゼント! たくさんのご応募お待ちしております!



### 応募方法

○当選者の発表は賞品の発送をもって代えさせていただきます。

住所、名前、年齢、連絡先、クイズの答え、広報誌の感想を書いて、  
下記メール・FAXで「佐賀県老人クラブ連合会」までご応募ください。

【応募締切】  
2月29日(木)



一般財団法人  
**佐賀県老人クラブ連合会**

Saga Federation of Senior Citizens Clubs.

TEL 0952(33)3520 FAX 0952(33)3801

✉ [saga.rc33@ia2.itkeeper.ne.jp](mailto:saga.rc33@ia2.itkeeper.ne.jp)



〒840-0804 佐賀市神野東二丁目6番1号(佐賀県在宅生活サポートセンター内)

佐賀県老連 検索

※この広報誌は、佐賀県の補助金を受けて発行しています。

### (特集)老人クラブ新人会員インタビュー

元気ハツラツな笑顔が満開!  
みんなが主役になれる場所

(取材協力:唐津市老人クラブ連合会 浦・鳩川老人クラブ)





**特集** 老人クラブ新人会員インタビュー

# 元気ハツラツな笑顔が満開! みんなが主役になれる場所



各地域で多様な活動をしている唐津市老人クラブ連合会。そのなかから、新規会員の増加活動に活発だった唐津支部の浦・鳩川老人クラブをご紹介します。どんな活動が会員の加入につながったのか、会員同士の絆を深めるという交流イベントにおじゃまさせていただきました。(取材協力:唐津市老人クラブ連合会 浦・鳩川老人クラブ)

## 誕生日会&新人会員交流会はいつも大盛会!

今回お話を聞く新人会員の方は、令和5年12月に72歳の誕生日を迎えた野崎政文さん。浦・鳩川老人クラブでは、年に4回、誕生日会を開催しており、10~12月生まれの会員の方をお祝いする誕生日会を毎年12月に開催。新人会員交流会との合同で、いつもよりちょっとおめかしした皆さんが参加されていました。

同クラブの誕生日会は、第1・2回は公民館で開催され、ビンゴゲームやカラオケのお楽しみ付き。第3回は地元の料亭を会場にして開催。第4回は、年内最後の交流イベントということもあり、みんなでバスに乗って国民宿舎いろは島(肥前町)へ。眺望抜群の温泉付きの食事会は、一番のお楽しみだといえるかもしれません。  
※公民館以外の誕生日会は、若干の個人負担を頂いております。

誕生日会の“主役”でもある野崎さんが老人クラブに入会したのは、地域組織のつながりを作るため。「区長になって3年、さまざまな地域活動には老人クラブとの連携が大切だと思ったんです。それまでは、老人クラブに入るのは75歳くらいでいいかなと思ってました(笑)」。ところが、いざ老人クラブの活



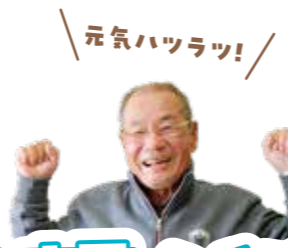
誕生日の会員の方にはプレゼントを贈呈!  
左)浦・鳩川老人クラブ 会長 堀田 恒明さん  
右)浦・鳩川老人クラブ 野崎 政文さん

動に参加してみると、こんなに楽しいものだったのか!と驚きのほうが大きかったそう。数年前まで唐津市内の会社に勤めていた野崎さんは、生まれも育ちも浦地区という生粋の“浦っ子”。「近所の人はもちろん知っていますが、会員になって初めて話をした人もいて、人と人との新しいつながりが生まれました」と嬉しそうに微笑みます。

## 活動を通して地域の絆を深めよう

誕生日会など交流イベントを積極的に行っているのは、会員同士の親睦を深めるため。地域に住む人を知ることは、地域の絆を強めることにつながるからです。「うちは結束力の強かもんね」という浦・鳩川老人クラブの皆さん。とはいえ、老人クラブ未加入者に勧誘をしてみると「まだまだ老人じゃなかけん」、「入ったら、なんか役をさせらるっとやろ?」という声も少なくありません。同クラブでは勧誘の際、「入会から2年間は役に就いてもらうことはない!」と伝え、まずは会の雰囲気になじんでもらうことを優先しているといいます。

老人クラブは、仲間とともに楽しい時間を過ごせる場所であると同時に、これまでの人生経験や知恵が地域のために生かせる場所でもあります。クラブ内では“若手”となる野崎さんは、「力仕事などは率先してお手伝いするようにしています」と、すでに頼りになる存在です。お互いに支えたり、支えられたりしながら、生き生きとした毎日を過ごせるように、笑顔あふれる活動にあなたも参加してみませんか?



一緒に笑顔あふれる時間を過ごしましょう!



## PLAY BACK 青春時代



会社務めをしていた20代前半に、旅行先で撮影した1枚。「実家が農業をしていたので、当時は兼業農家だった」と野崎さん。今は、趣味で野菜づくりなどをしていて、手作りの柚子胡椒は知人など多くの人から「また食べたい!」と言われるほど大好評だとか。

